

6・2 国際港湾問題

6・2・1 スエズ・パナマ運河問題

当協会は、毎年会員各社の社船及び用船（外国用船を含む）について、両運河に係る通航実態並びに通航料支払実績の調査を実施している。

調査対象期間は、従来より各運河の運営団体の会計年度に合わせて、スエズ運河については2002年1月1日より同年12月31日まで、パナマ運河については2002年4月1日より2003年3月31日まで調査してきており、本年度においても同期間とした。

〔スエズ運河〕

今回の調査によると、スエズ運河の利用状況は通航船社数が前年と同数の11社となった。利用隻数は12.5%の減少（2002年：842 / 2001年：962）したものの、G/Tベ－スで6.2%の増加（43,125 / 40,592 千G/T）する一方で、D/Wベ－スでは3.4%の減少（38,010 / 39,342 千D/W）となった。

また、料率の基本となるスエズ運河トン数（*1 SCNT：Suez Canal Net Tonnage）ベ－スでは11.4%の増加（42,898 / 38,521 千トン）となったことから、全体の通航料も12.0%の増加（189,060 / 168,844 千米ドル）となった。（[資料6-2-1 参照](#)）

船種別で見ると、タンカ－が大幅に減少する一方で、自動車専用船及びコンテナ船が増加した。タンカ－はSCNTベ－スで75.6%の減少（390 / 1,596 千トン）、通航料も70.8%の減少（3,062 / 10,504 千米ドル）と、大幅な減少となった。バルクキャリアはSCNTベ－スで33.9%の減少（3,199 / 4,838 千トン）、通航料も28.9%の減少（10,062 / 14,142 千米ドル）となった。また、在来定期船もSCNTベ－スで41.8%の減少（354 / 608 千トン）、通航料が18.6%の減少（2,753 / 3,382 千米ドル）となり、3つの船種で、前年に引き続き減少した。

一方、自動車専用船はSCNTベ－スで18.9%の増加（15,831 / 13,312 千トン）、通航料でも18.0%の増加（66,941 / 56,709 千米ドル）となり、前年の減少から増加に転じた。また、コンテナ船は、SCNTベ－スで28.3%の増加（23,119 / 18,026 千トン）、通航料でも27.8%の増加（106,192 / 83,070 千米ドル）となった。また、鉱油兼用船は2年連続で通航実績はなかった。（[資料6-2-2 参照](#)）

〔パナマ運河〕

2002年度のパナマ運河の利用状況は、通航船社数が2001年比較で1社増となったが、利用隻数は4.9%の減少（2002年：904 / 2001年：951）、D/Wベ－スでは4.6%の減少（27,285 / 28,597 千D/W）となった。しかしながら、G/Tベ－スでは3.1%の増加（34,191 / 33,151 千G/T）、料率の基本となるパナマ運河トン数（*2 PCNT：Panama Canal Net Tonnage）ベ－スでも15.9%の増加（35,680 / 30,797 千トン）となったため、全体の通航料も16.3%の増加（100,293 / 86,250 千米ドル）となった。（[資料6-2-3 参照](#)）

船種別について見ると、コンテナ船が大幅に増加するとともに、自動車専用船及びタンカーが増加したが、その他の船舶の指標は概ね減少した。コンテナ船は、PCNTベースでは106.0%の増加

(5,506 / 2,673 千トン)、通航料も 110.1%の増加(14,383 / 6,847 千米ドル)と大幅な伸びを示した。タンカーは PCNT ベースで 30.2%の増加(112 / 86 千トン)、通航料も 63.1%の増加(393 / 241 千米ドル)、また、自動車専用船も PCNT ベースで 31.6%の増加(22,654 / 17,220 千トン)、通航料でも 31.9%の増加(63,364 / 48,034 千米ドル)となった。一方、バルクキャリアーは、PCNT ベースで 24.8%の減少(6,791 / 9,028 千トン)、通航料でも 21.2%の減少(18,956 / 24,041 千米ドル)となり 3 期連続で減少となった。(資料 6-2-4 参照)

*1 スエズ運河トン数 (SCNT : Suez Canal Net Tonnage)

1873 年の万国トン数会議で定められた純トン数規則をもとに、スエズ運河当局独自の控除基準を加えて算出する。二重底船の船底にバンカー油を積載した場合その部分の控除を認めない等、パナマ運河や各国の規則とも異なる独特のもの。

*2 パナマ運河トン数 (PCNT : Panama Canal Net Tonnage)

1969 年のトン数条約による国際総トン数の算出に用いた船舶の総容積に、パナマ運河当局独自の係数をかけて算出する。船舶法に定める総トン数、純トン数とは異なる。

〔資料6-2-1〕 スエズ運河通航料支払実績推移

年度	社数	延隻数	延千G/T	延千D/W	延千SCNT	通航料			
						千USドル	対前年比	億円(参考)	対前年比
1992	13	1,186	36,011	32,587	40,846	198,368	20.1	253	13.3
1993	15	877	29,373	27,940	32,032	173,824	12.8	195	23.0
1994	17	768	27,766	24,278	28,979	143,268	17.6	147	24.8
1995	17	867	36,202	35,185	39,509	173,275	20.9	167	13.6
1996	12	883	37,491	32,909	38,008	172,869	0.2	195	16.8
1997	14	1,011	40,387	36,150	42,073	201,497	16.6	244	25.1
1998	15	1,010	40,045	36,397	41,810	198,034	1.7	259	6.1
1999	13	944	40,040	34,634	43,067	195,641	1.2	223	13.9
2000	12	1,019	43,992	41,279	40,680	180,582	7.7	195	12.6
2001	11	962	40,592	39,342	38,521	168,844	6.5	205	5.1
2002	11	842	43,126	38,010	42,898	189,060	12.0	237	15.6

注)2002年の通航料の円換算率は、2002年1月～12月の平均レート(銀行間直物相場)1ドル= 125.28円を採った。

〔資料6-2-2〕 スエズ運河通航船実態調査(2002.1.1～2002.12.31) (通航料=千USドル)

船種	社数	延隻数	延千G/T	延千D/W	延千SCNT	通航料
タンカー	2	55	261	475	390	3,062
鉱油兼用船	0	0	0	0	0	0
バルクキャリアー	7	74	3,299	6,010	3,199	10,062
自動車専用船	4	292	14,252	4,994	15,831	66,941
コンテナ船	3	391	24,866	25,880	23,119	106,192
在来定期船	1	29	442	644	354	2,753
その他船舶	1	1	6	7	5	50
合計	11	842	43,126	38,010	42,898	189,060

注)社数合計の11は、調査期間中にスエズ運河を通航した会員船社数の合計であり、船種別の社数の合計とは一致しない。

〔資料6-2-3〕 パナマ運河通航料支払実績推移

年度	社数	延隻数	延千G/T	延千D/W	延千PCNT	通 航 料			
						千USドル	対前年比	億円(参考)	対前年比
1992	19	1,300	31,442	38,536	36,766	76,993	3.7	97	9.5
1993	17	1,204	30,658	35,979	34,634	76,169	1.1	83	14.4
1994	17	1,280	36,530	36,625	36,624	81,000	6.3	81	2.8
1995	19	1,420	40,068	46,343	40,389	87,096	7.5	82	1.2
1996	16	1,350	38,372	40,657	38,598	83,313	4.3	91	11.0
1997	16	1,291	35,914	38,679	35,444	92,760	11.3	114	25.3
1998	15	1,366	38,552	41,547	38,427	100,040	7.8	128	12.3
1999	15	1,171	35,372	37,605	36,714	95,642	4.4	115	10.2
2000	15	989	32,887	33,220	30,184	83,376	12.8	92	20.0
2001	15	951	33,151	28,597	30,797	86,250	3.4	108	17.4
2002	16	904	34,191	27,285	35,680	100,293	16.3	122	13.0

注)2002年の通航料の円換算率は、2002年4月～2003年3月の平均レート(銀行間直物相場)1ドル=121.87円を採った。

〔資料6-2-4〕 パナマ運河通航船実態調査(2002.4.1～2003.3.31) (通航料=千USドル)

船 種	社数	延隻数	延千G/T	延千D/W	延千PCNT	通航料
タンカー	2	4	140	156	112	393
鉱油兼用船	0	0	0	0	0	0
バルクキャリアー	9	278	7,719	13,319	6,791	18,956
自動車専用船	4	445	20,132	6,878	22,654	63,364
コンテナ船	3	120	5,430	6,037	5,506	14,383
在来定期船	2	26	247	280	201	751
その他船舶	3	31	523	615	416	2,446
合 計	16	904	34,191	27,285	35,680	100,293

注)社数合計の16は、調査期間中にパナマ運河を通航した会員船社数であり、船種別の社数の合計とは